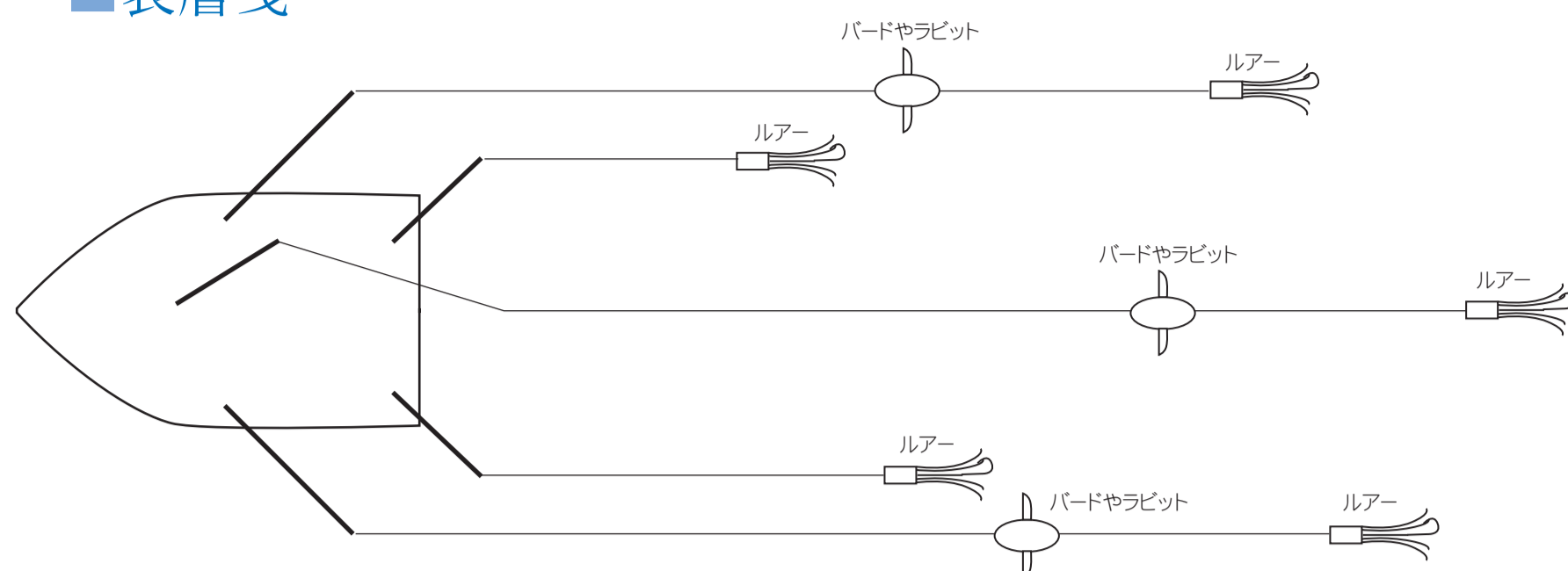


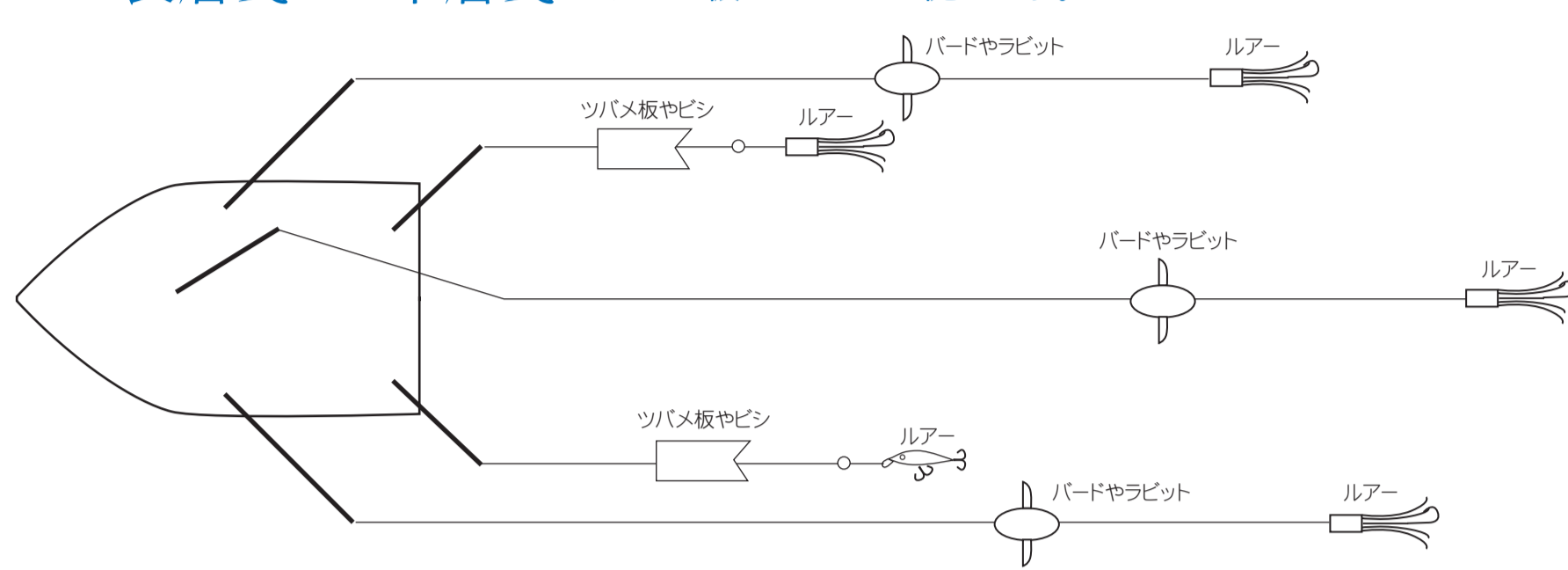
ルアーフォーメーション

カツオ マグロ 沖の回遊魚

■表層曳



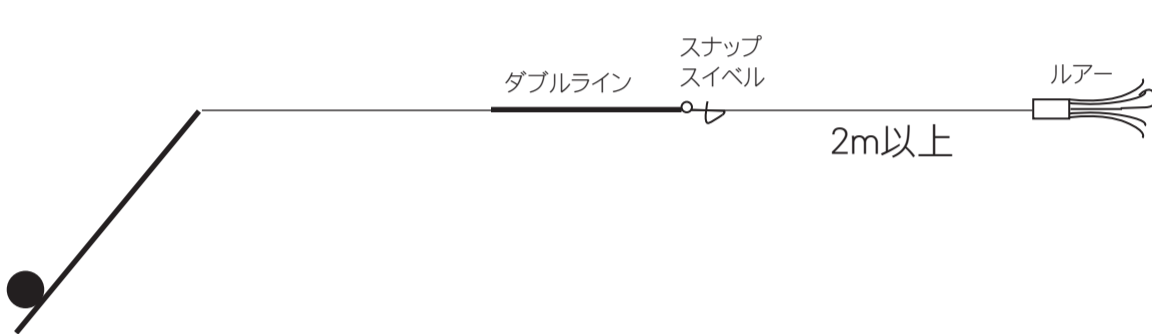
■表層曳 + 中層曳 ツバメ板を3m~5m沈めます。



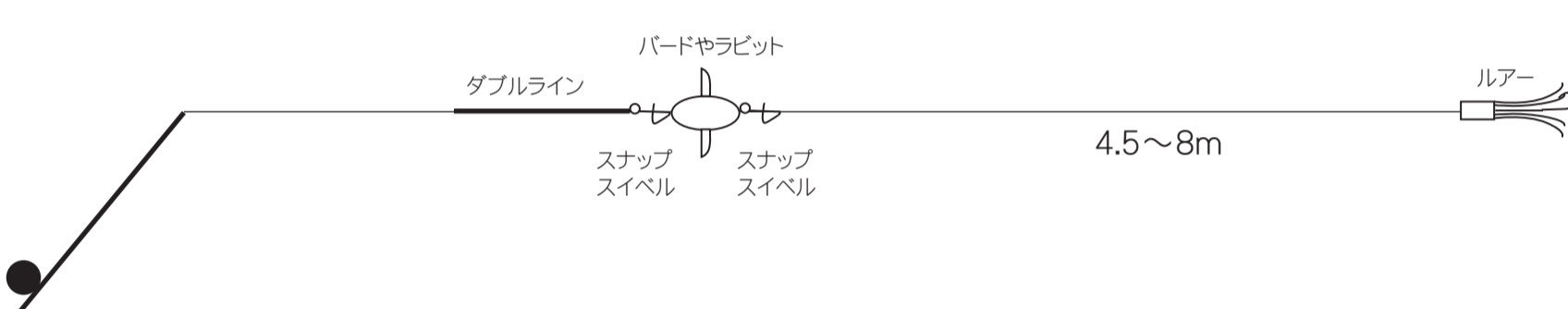
■ラインシステム

カツオ・マグロには、ルアーリーダーは一般的に30号を使います。
(10kgなど大型の場合は40~50号)

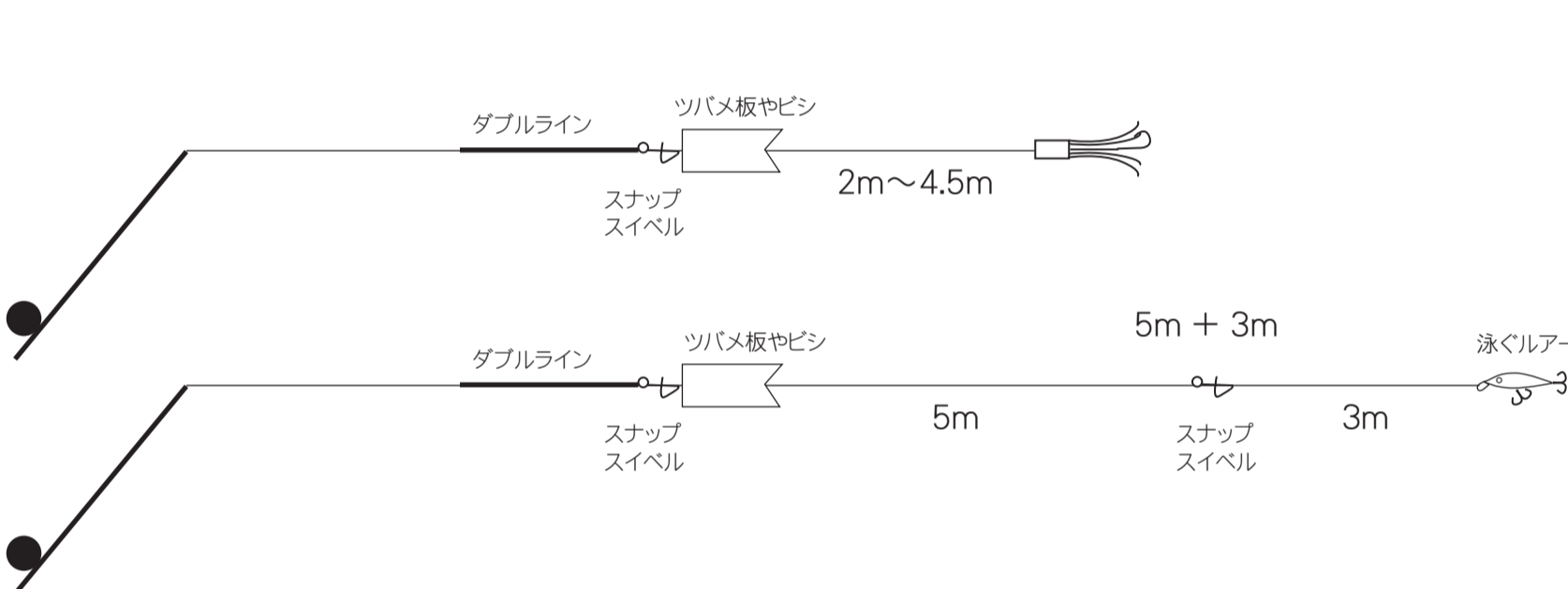
・表層素曳 素曳の場合、ルアーリーダーは2mあれば充分です。



・表層 バード曳 バードやラビットを付けた場合、ルアーリーダーを4.5m~8mと長めにします。



・中層曳 ツバメ板やビン等で沈めて曳く場合、バレットタイプのペンショートやペンナチュラルはリーダー2m~4.5m、泳ぐルアーの弓角やラバラ、スプーン等はリーダーを5m+3m以上にします。

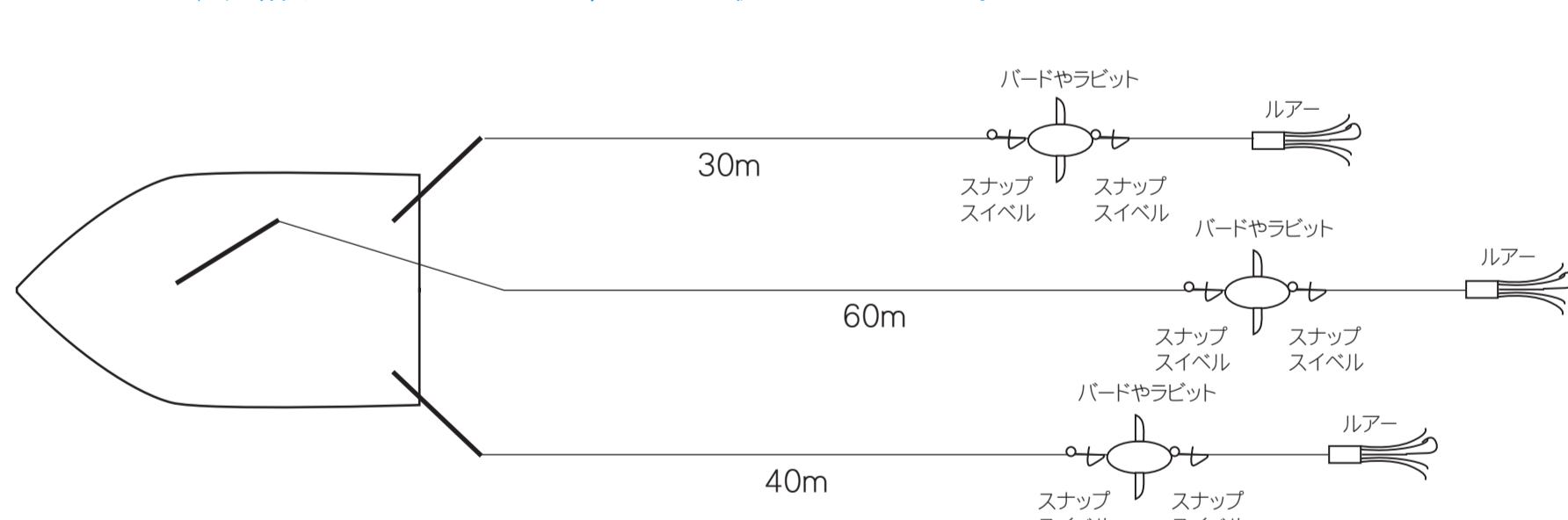


ルアーフォーメーション

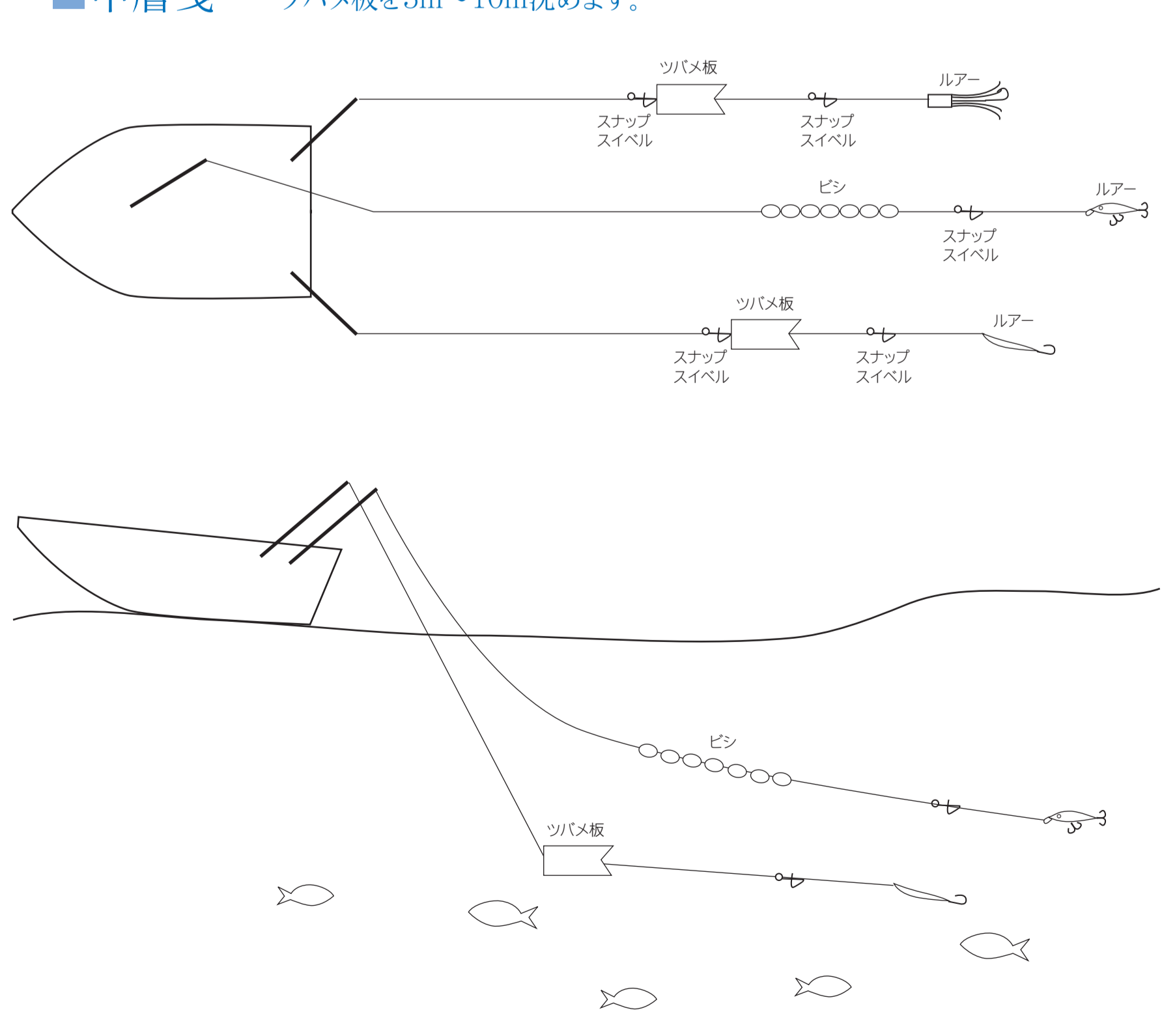
ワラサ サワラ サバ タチウオ ヒラメ 沿岸の回遊魚

■表層曳

沿岸の回遊魚はボートを怖がるので、ルアーを遠くに流します。
ラインが長く絡みやすくなるので3本くらいが流しやすいです。



■中層曳 ツバメ板を5m~10m沈めます。



沿岸の回遊魚を釣る場合、ルアーリーダーは8号~18号の細いリーダーを4.5m~10mと長めに曳きます。最も深い棚を探るのがツバメ板です。ボートを低速にしてラインをのぼすと、どんどん沈んでいきます。釣りた魚の棚の上を曳くようにしてください。棚の下では魚は食ってきません。